

インターバンクの声（2016年5月11日）

昨日、東京市場の後の為替市場は、円相場を中心に主要通貨の値動きは概ね平穏だった。毎日という訳ではないが、東京の朝やロンドン市場が始まる前、ディーラー間で何げなく「今日はどっちに動くかな」などと相場観を確認し合うことがある。ずばり「今日はドル買いだね」とか「豪ドルは売りでしょ」などとはっきり自分の相場観を主張する仲間もいるが、どこかで責任感のような意識が働くのか、曖昧な返事をする仲間が多い。ただ、なぜか静かな相場になりそうな日に限っては、「動きそうもないね」と気楽に答えてくれる。昨日のロンドン市場が始まる前がまさにそのケースで、誰からもドル円が110円まで上がるとか108円台前半まで大きく下げるとかの意見は出なかった。リスク回避姿勢が後退しているために円売り・ドル買いが進んだとの解説も目立つが、個人的には「円買いもリスクでしょ」と常々思っているのでこの解説にはいささか違和感がある。それはともかく、先物市場でこれまでの最大規模に拡大していたとされる円買いのポジション調整が、週末以降のドル円上昇に繋がっているのは確かなようだ。どれほどの金額の巻き戻しがあったか分かれば、今後の値動きのヒントになるが、それが分かるにはもう少し時間がかかる。どうも今日の東京市場も動き難そうに見えてしまう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。